

第6回 西新宿地区再整備方針検討委員会

1. 日時・場所

令和4年12月5日(月) 14:00~16:00

都庁第二庁舎31階特別会議室21 +オンライン併用開催

2. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

3. 議題

・報告

- (1) 西新宿懇談会からの主な意見
- (2) 「FUN MORE TIME SHINJUKU (ファンモアタイム新宿)」

・議事

- (1) 第5回委員会の主な意見と対応
- (2) 西新宿地区再整備方針(事務局案)
- (3) 今後の進め方

4. 配布資料

次第

[資料1] 第5回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応

[資料2] 西新宿地区再整備方針(事務局案)

[資料3] 今後の進め方

[参考1] 西新宿懇談会からの主な意見

[参考2] FUN MORE TIME SHINJUKU (ファンモアタイム新宿) 実施概要

5. 議事録

<報告>

- (1) 西新宿懇談会からの主な意見
(事務局より資料説明(参考1))
- (2) 「FUN MORE TIME SHINJUKU (ファンモアタイム新宿)」
(一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会より資料説明(参考2))

<議 事>

- (1) 今後の進め方
(事務局より資料説明(資料3))
- (2) 第5回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応
(事務局より資料説明(資料1))
- (3) 西新宿地区再整備方針(事務局案)
(事務局より資料説明(資料2))

【小嶋委員】

- イラストはにぎわいのある風に修正されており良い印象を受ける。道路の再編にあたって、以前は自転車等パーソナルモビリティと歩道の関係が混在していたが、今回は整理されている。

【吉村委員】

- P10 について、「ウォークブル」といっても様々であり、場所ごとに具体的にどのようなウォークブルを目指すのか示せると良い。
- P13-14 について、コミュニケーションラボの具体的な機能などは想定されているか。
- P23-24 について、デジタル技術を活用したまちづくりはもう少し適切な事例があると考えられる。スマート街区については、「快適なワークスペースの創出」とあるが、バルセロナでも実施されているように、スタートアップの誘致や様々な実験的な取組が行える場の提供など、より踏み込んだ内容が提示できると良い。
- P29-30 について、パースの雰囲気は良いと感じる。

【事務局】

- コミュニケーションラボについて、西新宿地区の教育関係や大学の集積を活かした学びの場の提供などによって西新宿らしさを見出したい。まちの歴史や将来計画の体験についても、来街者が実際に触れられる空間などを想定している。詳細については引き続き検討を進めたい。

【岸井会長】

- 学びやアーカイブについては、来街者が実際に参加し、体験できる機会を提供できるとまちが楽しくなる。

【伊藤副会長】

- 前回指摘させて頂いた特性・課題と再整備方針の繋がりは改善されているように感じる。一方で、基本理念との対応が若干分かりづらいが、よく読めば理解できる。
- 「新しいライフスタイル」というのが重要だと考えるが、具体的にどんなことが起こりうるのかを伝える必要がある。それを伝えているのが P29-30 のパースかと思うが、こんなこともできるのかという発見が具体に見えると良い。例えば、「⑨まちの歴史や将来計画に触れることができるなど、誰でもまちづくりに参加できるきっかけがあふれている。」とあるが、模型を囲んでディスカッションしている風景や授業をしている風景など、これまで見えてこなかった場面をイメージできると説得力が増す。
- パースについてはファニチャーなどがありきたりであり、現在の一般的な使い方に寄りすぎている。各ラボやテラス、ロビーは P29-30 で示さなくて良いのか。

【事務局】

- 表現など引き続き検討する。

【池邊委員】

- P11 について、「RENOVATE」は若い人に対して示す言葉として相応しくない印象。2040 年を目標とするのであれば「evolusion／進化」といった言葉の方が良いだろう。
- イラストなど更新されているが、肝心の整備費や維持管理を誰が担うのかについて切り込んでいない。
- 地下部分は以前より指摘をしているが、ショーケースにして企業に貸すこともできるだろう。維持管理費をどのように捻出していくか考える必要がある。
- 都民広場は公開空地であり、都庁のモノではなく都民のモノである。公開空地については、例えばすべての公開空地を定期借地で貸し出すなど考えてはどうか。

- 本日もご紹介頂いた都民広場のイベントもなぜ人工芝でやっているのか。移動式の樹木を持ってきて、環境影響などを数値化すれば世界にも発信できたのでは。
- ロンドンでは長大な高架を公共空間化し、12人の建築家にデザインをさせている。西新宿地区の公開空地の階段をどのように生まれ変わらせるかは、様々な建築家にデザインやアイデアを募ると良い。それだけでも情報発信になる。当地区については広告や営業が不足している印象。
- 2040年を目指しているという事をよく考えて欲しい。
- まとめると3点について、再考して欲しい。①再整備方針として、これといった華が無い。みんながわくわくする要素が無い。②整備費は誰が出すのか。③都庁のひざ元でありながら、世界に発信する要素が無い。都として何を世界に情報発信するのか。
- 新宿三井ビルと京王プラザの間から新宿中央公園にかけてなだらかな歩行空間をつくと良い。
- P20のみどりの誘導イメージは何の意味もなしていないので再構成すること。図として伝わる内容がなく、みどりの戦略として、具体的に記載しては。

【国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長 田雑委員】

- 全体的に再整備方針としては形になりつつあると感じている。
- 地域冷暖房は初期に整備された歴史的なものである。都内の他エリアと比較しても病院、ホテル、商業、超高層オフィスなど土地利用が複合的であることが当地区の特徴であり、脱炭素や防災、エネルギーマネジメントの要素が入っていることは国の施策としてもありがたい。西新宿を変えるにあたっては、設備そのものが入れ替わる中で、エネルギーマネジメントもどう効率化していくかは民間も含め、具体的な戦略を立てて頂きたい。国の支援制度も拡充しており、うまく連携できると良い。

【岸井会長】

- 詳細の検討については、2023年度に具体の議論を進める理解で良いか。

【事務局】

- 都庁の再編については、財務局とも検討していく。地域冷暖房についても、当時の計画は東京ガスが主体であり、今後どのように効率化できるかなどはまち側でも検討の取り組みを始めている。2023年度に具体的な議論を進めていくことを考えているが、どのような体制・場で議論するかは整理する必要がある。

【国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長 田雑委員】

- 西新宿の議論は、新宿駅直近地区の土地区画整理事業から繋がる4号街路の骨格が変わることが大きいと考える。4号街路の再整備は時間がかかるが、時間を空けることなく目に見えるものも大事にしながらか再整備を進めることが重要と考える。

【国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官 角田委員】

- 各パースについて、超高層ビルの高層部が敢えて消されて表現されている。一方で、西新宿は当面は超高層ビルが建っているため、超高層ビルがあった時にどう見えるのか、高層部は関係ないという事にならないようにした方が良いと考える。
- コンセプトについては、現在記載しているような、ある程度現状のまちを生かした趣旨の表現が良いと感じる。

【東京都 財務局 庁舎運営担当部長 鈴木委員】

- 都民広場の活用について、公共性が求められることから、様々な意見を取り入れながら考えていきたい。利用拡大にあたってはHP等を活用してPRの取り組みも進めていく。周辺地域と一体となった賑わい創出、都民及び地域関係者の声を聞きながら検討を進めていく。

【東京都 建設局 道路管理部長 荒井委員】

- 様々なエリアでエリアマネジメントが進んでおり、関係各所と連携しながら進めていきたい。

【東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長 佐藤委員】

- 都庁循環バスは、現状の利用時間帯が通勤時間に限られている。回遊性を含め今後の発展と、まちの動きと併せて潮流も変わると良いと考える。

【一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事 小林委員】

- 既存の超高層ビルは建替え前提ではないが、エリア全体として常に更新していくことが重要と考えている。今回再整備方針で大きな方向性を示されたので、今後道路や街区を一体的に更新していけると良い。
- 将来像実現へのプロセスとして社会実験を行うと、休日にはベビーカーを押したファミリー層が数多く見受けられるなど、新たな発見がある。少しずつ周辺環境も変わっており、様々な人々にとって何が良いかは時間軸を意識した検討も必要。次年度以降、具体的に検討を進めたい。

【新宿区 みどり土木部長 森委員】

- 新宿中央公園は、トイレのネーミングライツ、指定管理、Park-PFI、芝生広場の再編などにより、家族連れの利用者も多く、訪れやすくなったとの評価を頂いている。次年度以降、さらに花のもりなどの整備を予定している。今後も毎年更新していく。

【東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長 村上委員】

- エリアマネジメント団体と共にサービスの実装に取り組んでいる。自動運転や XR、メタバース、デジタルツインなど方針に記載の通り実装を進めている。2030～2040年代に向けて中長期的に取り組む内容もあり、先をにらんだ記載になるよう引き続き調整したい。

【東京都 都市整備局 まちづくり調整担当部長 澤井委員】

- 先日のイベントでも、外国人などが多く来ていた。行政計画を進めながらも実際に体験や実感を重ねることが大事だと感じている。どのように維持管理費を捻出していくかについても今後検討を進める内容である。

【東京都 都市整備局 交通政策担当部長・先端技術調整担当部長 三木委員】

- 自動運転、歩道の活用など、方針に併せながら検討を進めたい。

【池邊委員】

- Renovate は建設系の言葉であり、一般に対しては分かりにくいのでは。

【伊藤副会長】

- 修繕や模様替えだと今回の再整備とはニュアンスは違う。今あるものを活かしながら再編することは重要であるが、意味や価値が進化するということなのでは。進化という意味では Evolve などもある。

【吉村委員】

- デジタルでは transform という文言がよく使われる。

【小嶋委員】

- 個人的には Renovate も良い印象。

【岸井会長】

- P29-30 について、下の文章と上の絵がうまく伝わっていないと感じている。新しいライフスタイルのイメージによって下の文章も変わるだろう。②は新しいライフスタイルなのかは疑問である。今の新しさは双方向で開かれていて、まちの人から企業が受け取るようなダイナミックな変化ではないか。まちも企業も都庁も開いているようなイメージ。

【池邊委員】

- 東京としての新しいライフスタイルの肝を明示して欲しい。

【伊藤副会長】

- 今後の進め方について、2020年代後半以降の記載が具体性に乏しく意図が感じられない。フィジカルな変化が動き始める前から情報を共有化することが重要と考える。以前も発言した通り、具体的に言えば情報センターなどリアルでもデジタルでも整備できると良い。西新宿地区が変わることを楽しみにしてもらい、再整備案の変化も追えるような体験的な場をつくりながら、フィジカルな変化に繋がるような要素を入れ込んで頂きたい。

【池邊委員】

- 丸の内は30年かかっている。西新宿の元締めである都庁がコンソーシアムなどでエリアをまとめ上げ、議論を進めて頂きたい。

以 上

第6回 西新宿地区再整備方針検討委員会 出席者名簿

職	所属・役職等	備考
会長	政策研究大学院大学 客員教授 岸井隆幸	
副会長	東京理科大学 理工学部建築学科 教授 伊藤香織	
委員	埼玉大学 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 准教授 小嶋文	
〃	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授 池邊このみ	
〃	東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授 吉村有司	
〃	東京都 都市整備局 先端技術調整担当部長	
〃	東京都 都市整備局 まちづくり調整担当部長	
〃	東京都 都市整備局 都市基盤部長	欠席
〃	東京都 都市整備局 交通政策担当部長	
〃	東京都 建設局 企画担当部長	
〃	東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長	
〃	新宿区 みどり土木部長	
〃	新宿区 都市計画部 新宿駅周辺整備担当部長	
〃	一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事	
オブザーバー	国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長	
〃	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官	
〃	警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長	欠席
〃	東京都 財務局 建築保全部長	
〃	東京都 財務局 庁舎運営担当部長	
〃	東京都 建設局 道路管理部長	
〃	東京都 建設局 道路保全担当部長	
〃	東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長	
(事務局)	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 開発企画課 東京都 都市整備局 都市基盤部 街路計画課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺基盤整備担当課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺まちづくり担当課	